

令和2年度 第1回安曇野市博物館協議会 会議概要

1	会議名	令和2年度 第1回安曇野市博物館協議会
2	日時	令和2年5月19日 午前10時から午前11時まで
3	会場	安曇野市役所本庁舎 3階 会議室305
4	委員出席者	春日委員、百瀬委員、細野委員、宇田川委員、須之部委員、金井委員、笹本委員、高原委員、伊藤委員、古川委員
6	事務局出席者	山下文化課長、豊科郷土博物館兼穂高郷土資料館原館長、豊科近代美術館兼飯沼飛行士記念館荒深館長、田淵行男記念館曾根原館長、穂高陶芸会館小倉館長、高橋節郎記念美術館黒岩館長、貞享義民記念館中村館長、臼井吉見文学館平沢館長、財津博物館係長、三澤文化振興担当係長、内山文化振興担当主任
7	公開・非公開の別	公開
8	傍聴人	記者 1人
9	会議概要作成年月日	令和2年5月29日

協 議 事 項 等

○会議の概要

1 開 会

2 あいさつ (文化課長)

- ・改選後、初めての博物館協議会である。2年間よろしくお願ひいたしたい。
- ・昨年度は臼井吉見文学館を直営とし、高橋節郎記念美術館に指定管理者制度を導入した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防により博物館等の事業は中止、施設も臨時休館となった。

3 辞令交付

4 自己紹介

5 説明 (博物館協議会について)

事務局より博物館法、安曇野市博物館条例等について説明。

6 会長及び副会長の選出

互選により、会長：笹本委員、副会長：百瀬委員で決定

7 報告・協議

(1) 令和元年度各館事業報告 (資料1)

会長 令和元年度各館事業報告については、予め手元に届けられているため、各館長の説明は省略し、委員の質問・意見より始めさせていただきたい。是非、理想論ではなく現実的な質問・意見をお願いしたい。

委員 豊科郷土博物館について、展覧会や教育活動をまとめた冊子とその都度軌跡として残している。活動の証、そして後世への資産ともなると思うので今後も続けてほしい。「博物館ブックレット1『人の人生 安曇野子育て日記』』について、専門家には分かるが、一

般の方には難しいと思われる言葉があった。注釈として解説を載せてもらえると、より良いものができるのではないかと考える。

豊科郷土博物館 ブックレットは、限られたスペースの中で何を載せようか等、非常に苦勞して発行した経過がある。今回のご意見を今後の冊子の参考としたい。

委員 国営アルプスあづみの公園の生き物の生態系について豊科郷土博物館の学芸員の方にもご協力いただき、休園中公園の整備を行った。今後、そういったフィールドワークの上で協働の研究活動の場と公園がなればと考えた。

会長 共に研究しようという提案である。現在この感染症の情勢の中で、作品を実際に見て感じてもらうことが各館で難しくなっている。バーチャル空間での鑑賞も増えてきていて、それで終わってしまう可能性も今後ある。その中で公園における自然は実物を見てもらえる点で強みがある。

委員 テーマと今の自分たちリアリティーが結びつくと鑑賞者の興味関心は深まると思う。豊科郷土博物館の展示はここ数年「見せる」展示をしている。大切に保管するだけでなく、今の生活に直結するような接点を見出すことが大切だと感じる。

会長 いかに市民の方に見て楽しんでもらえるのが大切である。委員の方々には是非改善すべき点等実際の様子を見て多角的なご意見いただきたい。

委員 昨年12月の学校ミュージアムについて、子ども達のみならず教員達からも「館へ行ってみたい」との意見があった。生徒と一緒に回っていた教員は非常に触発されていたと思う。「毎年やって欲しい」との感想もあった。この機会に、もっと小規模であって良いので、回数を増やしていただければ良いと思う。

会長 大きな規模でなくても良いとのこと、今の状況にとっては救いであると思う。事務局には引き続きの実施とご意見について検討をしていただきたい。

委員 穂高郷土資料館について、現在企画展『「鐘の鳴る丘」と主題歌「とんがり帽子」』の展示を行っているが、入口をもっと華やかにして、入りやすい雰囲気にした方が良いと思う。

会長 見やすさに加え入りやすさについても考えていってもらいたい。博物館の中には疫病関連の資料もある。過去の人がどのように疫病と戦ったのか、この際だから展示しても良いのではないのか。

委員 コンパクト展示について、タイトルを見ると大人も興味を持つテーマであると思う。是非、図書館での展示や先生方への周知をしてほしい。休校中の今だからこそ、子ども達も新たなことに興味関心を持つようになるかもしれない。是非、情報が手に取りやすい場所はどこなのかも考えていってほしい。

会長 コンパクト展示は安曇野市独自のものである。良いものを知らせるためにどうしたらいいのか考えていってもらいたい。

委員 日展の中止は非常に残念である。オリンピックは延期となった。是非日展の延期を検討していただきたい。

会長 気持ちは分かるが、中止に比べ延期は条件がそろわないと難しい。

副会長 新市立博物館構想のために色々な施設で出前展示を行ってきた。この構想が今後どうなっていくのか教育委員会全体で適宜示してほしい。また、この感染症拡大の中で豊科郷土博物館は自動ドアやエレベーターが無いこと等、建物の面で最も苦しい状況であると思う。昨年オープンした文書館は魅力ある企画を展開していると思う。

豊科郷土博物館 昨年は開館40周年記念であった。40年経つと確かに建物として苦しい。保存という面でも収蔵庫は古く、きちんとした長期的な保存はできない。長いスパンよりは2年後、3年後を見据えてやっていくのが現状かと思う。

臼井吉見文学館 地域の方達が1つの教材についての研修会(勉強会)をして内容を討論している。人と人とのつながりの場を提供することが大切であり、活動をしている人達の子や孫等の世代がその様子を見て繋がっていくのではないのか。

会長 建物が老朽化したままで良いのか。協議会としてきちんと市に要望するようにしなくては前に進めないだろう。立ち消えになるのは市にもプラスにならない。また博物館協議会には文書館は参加していないが、全体を見通せるように文書館の様子も加えてほしい。

委員 感染症の影響で大規模展示への問い直しが強くなり、小規模の展示を限定的な観衆に届けるという仕組みを皆考え始めている。コンパクト展示はその先行事例として価値を持っている。また豊科近代美術館で行われた「千田泰広展」について、充実した現代アートの展示が実現した。この展示がきっかけで安曇野市の友好都市である武蔵野市の吉祥寺美術館での個展につながり、首都圏で作家を紹介することができた。海外と繋がるような実力をもったアーティストを安曇野が支えたことは昨年度の重要な実績であると思う。さらに、指定管理と直営の切り分けについても考えてくべきでないか。コロナウイルス感染症の影響によって文化庁等から対策事業に対する補助を打ち出された際、申請者名は誰になるのか、どのような区分にするのか、今後同じようなことが起こった際に対応できるように仕組みについても考えた方がいい。

委員 指定管理料について、消費税額が大きいようだがこれを払うメリットはあるのか。

穂高陶芸会館 市直営であればこの税額は減ってくるが、指定管理は人件費等を押さえることでその分歳出削減のメリットがある。

会長 市民の方にどうしたらサービスが行き届くのか、また安曇野市がより文化的になるために直営や指定管理の施設等、全体でどう取り組んでいくのか考えていく必要がある。引き続き、委員の方には各館を実際に訪れた上で感想や意見をいただきたい。

8 その他

9 閉会

以上

※会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。